

大学生の Learning Skills の調査

林 潔

I 序

学習の問題は、大学生の学園生活満足（和田，田崎，1978）の条件の一つとみなされる。学生の学習習慣についての訓練，学習技術訓練は，アメリカの大学の 50.5%，短大の 50.9%，カナダの大学の 43.7% でおこなわれている（Sullivan, L. L., 1979）。しかし，わが国の場合，学習指導を学生相談所の活動内容としているものは，大学では 14.6%，短大では 16.2%，高専では 6.2% にしかすぎない（林，1977）。

大学における学習を一つの技術としてとらえる見方は，アメリカでは 20 世紀初期よりみられる。すなわち Enright は，この過程を Fig. 1 のように示している（Enright, 1975）。

また Pauk は，大学生生活に成功する学生の特徴を 4 つあげ，その一つによい学習習慣をもつことをあげている（Pauk, 1974）。すなわち，これは学業上の成功に寄与する条件である（Corlette & Baich, 1972）。

学生の学習技術の調査は，学習に対する援助活動の前提となるものである。学習に対する援助活動，すなわち Learning Assistance が，公式の教育文献にあらわれたのは，1971 年の第 4 回 Annual Proceedings of the Western College Reading Association である（Christ, 1973）。

大学における学習技術訓練は，カウンセリング活動の一つとして展開したが，その組織，運営には，いくつかのタイプがある。

たとえば，Univ. of Melbourne では，この活動はカウンセリング活動の中に位置づけられている。San Francisco State Univ. では，これはカウンセリング活動の中に位置づけられているが，独立の部門である。また Univ. of California, Los Angeles および California State Univ., Long Beach では，カウンセリング・センターとは別個の運営がなされている。

学生の学習技術（学習習慣，学習態度）測定の試みは，1940 年代より始まる。学習習慣，学習態度の研究は，学習技術訓練コースの評価としてなされたものが多い（Jackson & Van Zoost, 1974）（Richards, 1975）（Robyak & Patton, 1977）（Robyak & Downey, 1978）（Fremouw & Feindler, 1978）。また，カウンセリングの評価（Brown, Wehe & Zunker, 1971），ガイダンスの評価（Wehe & Zunker, 1971），学生相談来談者の評価（Anderson & Kuntz, 1959）としてなされている。テスト研究では，De Sena (1949) は，Brown-Holtzman の Survey of Study Habits & Attitudes と Borow の College Inventory of Academic Adjustment とを比較している。

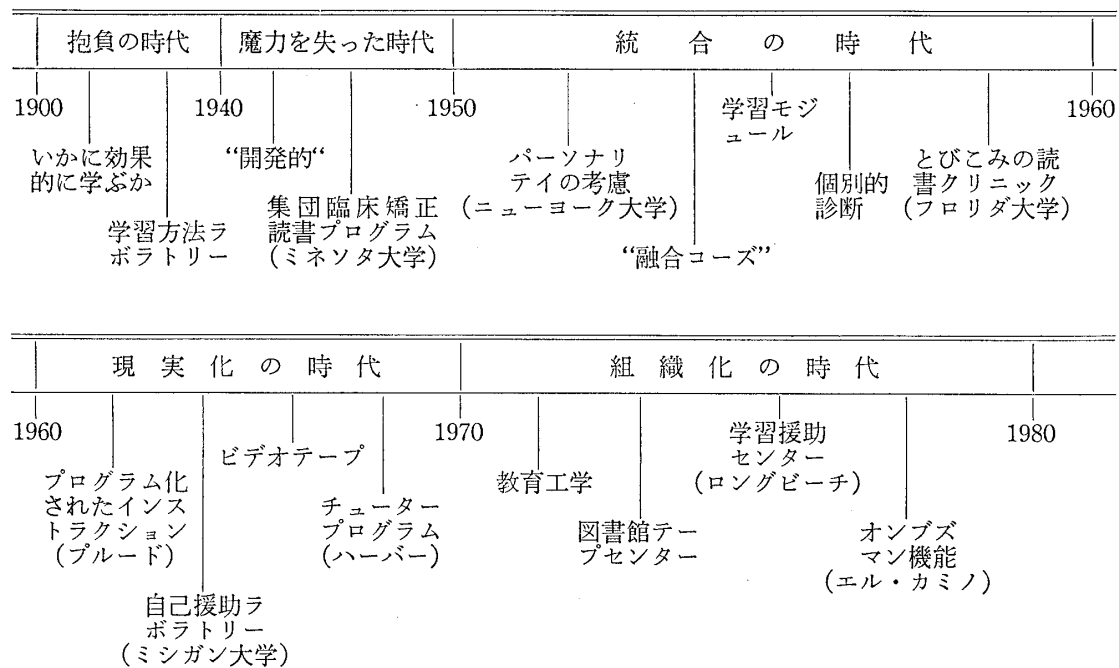


Fig. 1 学習技術訓練の展開 (Enright, G. 1979)

〔執筆者注〕 学習技術訓練は大学の大規模化の過程の中で少人数指導の試みを回復しようとするものであるとも理解できる。この中に教育工学、教師と学生の調整役 (オンブズマン) という新たな機能が加えられる。

学習技術の測定方法は、3つに大別できる。すなわち、総合評価をおこなうもの ((Brown & Holtzman, 1953) など)、若干の下位領域を測定し、あわせて総合評価をおこなうもの ((Brown, 1965) (Christ, 1968) など)、細分化された下位領域を測定し、あわせて総合評価をおこなうもの ((Costello & Fusco, 1978) など) である。第2の例として Brown の質問紙は、学習場面、学習方法、学習モチベーションをその下位領域とする。第3の例として Costello & Fusco の質問紙は、時間管理、読書理解、読書速度、講義ノートのとり方、学習読書、テストの受け方、書き方のメカニズム、書き方のまとめ方、スペリング、語い、図書利用、期末試験の12項目について、各5問、計60問の回答をアカデミック・スキルズとして評価する。そして、学習環境、個人的側面の計10問を加えて、学習技術についての総合評価をおこなう。

本研究では、この第2の分類にあたる Study skills surveys (Brown, 1965) を用いて、大学生の Learning skills とその下位領域について調査した。Study skills surveys は、アメリカの大学で巾広く用いられている質問紙の中で、最も実施が容易なものである。従って、わが国の学生に対する相談活動あるいは心理学的サービスに導入しやすい方法論ではないかと思われる。

学生の学習の問題に対する接近は、アカデミック・スタッフのはたす役割である。しかし、情緒・性格上の問題が学生の学習習慣、学習態度に影響を与える (林, 滝本, 1980) とすれば、ここに学生相談あるいは学生に対する心理学的サービスのはたしうる役割があるものと思われる。

II Learning skills の調査

方 法

大学生の Learning skills についての調査を, Study skills surveys を用いて, 1980 年 5 月~7 月に実施した。

これは 60 の質問項目から成り, 学習場面 (質問 1~20), 学習方法 (21~40), 学習モチベーション (41~60) の下位領域から構成されている。回答は, 「はい」「いいえ」でなされる。

被験者は, 首都圏の国立大学 1 校, 公立大学 1 校, 私立大学 3 校 (いずれも四年制大学である) の学生, 第 1 部男子 210, 女子 272, 第 2 部男子 151, 女子 41 名である。

なお, この 674 名の回答を 10 名ごとに選択して得た 67 の回答を対象として, 信頼性の検討をおこなった。すなわち 3 つの下位領域に対する 20 問を, 奇数番号, 偶数番号の各 10 問についての相関係数を算出した。

また, 本質問紙と, 先に実施した大学生の学習習慣, 学習態度の質問紙 (林, 滝本, 1980) を 96 名の学生に実施し (1980 年 7~11 月) 相関係数を算出した。

結 果

大学生の Learning skills の得点と, 下位領域の得点とを, 第 1, 2 部, 性別にあげたものが Table 1 である (はいを 0 点, いいえを 1 点とする。なお, 項目分析の結果, 質問 14 と 34 は集計から除外した。)

Table 1 下位領域別の得点

	第 1 部				第 1 部 性 差	第 2 部				第 2 部 性 差	男 子 第 1, 2 部 差	女 子 第 1, 2 部 差
	男		女			男		女				
	\bar{X}	SD	\bar{X}	SD		\bar{X}	SD	\bar{X}	SD			
学習場面	7.1	2.8	7.6	2.8		7.3	2.6	8.2	2.6			
学習方法	8.9	3.0	9.2	3.4		9.5	3.6	10.2	2.6			
学習モチベーション	9.3	3.6	10.2	3.5	*	10.5	3.5	11.7	3.6		**	*
学習技術	25.4	7.6	27.1	7.8	*	27.3	8.0	29.8	6.7		*	*

* $P < .05$ ** $P < .01$

この結果, 相対的な判断として, 学習モチベーションは男女ともに第 2 部学生が高い。学習モチベーションについての第 1 部学生の性差では, 女子が高い。学習技術全体についても同様であった。

項目別の比較結果は Table 2 のとおりである (得点の算出は Table 1 と同様である)。また, 下位領域相互および全体との得点の相関を, Table 3 にあげた。

Table 2 項目

1. 学校で出された課題やレポートをまとめるのをギリギリまで延ばしておく方ですか
2. 疲労や眠気のため効果的に勉強できないことがよくありますか
3. 宿題が時間までにできないことがしばしばありますか
4. 勉強しなければならない時間を、娯楽雑誌やテレビや、うわさ話で過ごすことがよくありますか
5. 課外活動やスポーツで、自分の勉強ができないことがしばしばありますか
6. 教室でとったノートを見直すのが、その日のうちではなく、翌日かそれよりあとになるのが普通ですか
7. 午前8時から午後4時までの自由時間を、学習以外のことに使うのが普通ですか
8. 時々、宿題や予習、復習を早くやっておけばよかったと思いますか
9. ある勉強をすると、前にやっていた勉強がほったらかしになることがよくありますか
10. 自分で勉強する時間が毎日一定せずまちまちですか
11. 自分の勉強机が窓やドアなど、気の散るものに直接面していますか
12. 写真や思い出の品やトロフィが、いつもあなたの机の上に置いてありますか
13. 床の中や、寝そべって勉強することがよくありますか
14. 自分で勉強中、照明がまぶしすぎることがありますか
15. 自分の勉強机の上がごたごたしているので勉強に不自由を感じるものがよくありますか
16. 自分の部屋に人が来ることで、勉強がしばしば妨げられますか
17. テレビやラジオ、レコードを聞きながら勉強することがしばしばありますか
18. 自分の勉強をよくする場所から娯楽雑誌、ピンナップ(写真や絵)、趣味の品などがいつも見えていますか
19. 自分の勉強が室外の雰囲気や音でしばしば妨げられますか
20. 必要な本や資料が手元にないと、勉強の進行が遅れることがしばしばありますか
21. テキストを読む時はいつも、見出しや図表には注意をしませんか
22. テキストを読む時、図や表やグラフがあっても、それをよく見ないで、とぼして読んでいくのが普通ですか
23. テキストを読む時、要点をつかむのがむずかしいことがよくありますか
24. テキストを読んでいる時、その内容と無関係のことを考えることがしばしばありますか
25. 学校のノートをあとから読み返すと、むずかしくて理解できないことがよくありますか
26. 早く筆記できないので、ノートをとるのが遅れることがよくありますか
27. あなたの学校のノートは新学期が始まった直後に、もう未整理のままになっていますか
28. ノートをとる時、先生のことばをそのまま機械的に書きとめるだけですか
29. レポートなどを書く時、参考書の丸うつしをするのが普通ですか
30. レポートを書く時、適切なテーマや内容を選ぶことがむずかしいことがよくありますか

別の結果(1)

第 1 部					第 2 部					男子 第1, 2 部 差	女子 第1, 2 部 差
男		女		第1部 性 差	男		女		第2部 性 差		
\bar{X}	SD	\bar{X}	SD		\bar{X}	SD	\bar{X}	SD			
.22	.42	.20	.40		.15	.35	.15	.35			
.12	.33	.09	.28		.16	.37	.17	.37			
.48	.50	.55	.50	**	.45	.50	.54	.50			
.14	.35	.19	.39		.21	.41	.22	.41			
.56	.50	.63	.48		.50	.48	.59	.49			
.05	.22	.09	.28		.05	.24	.10	.33			
.28	.45	.31	.46		.17	.37	.20	.40	*		
.09	.29	.06	.24		.05	.21	.12	.33			
.32	.47	.44	.50	**	.30	.46	.43	.49			
.16	.36	.15	.36		.18	.38	.20	.40			
.60	.49	.57	.50		.63	.48	.66	.47			
.87	.34	.74	.44	**	.88	.34	.83	.37			
.54	.50	.63	.49	*	.55	.50	.59	.49			
.91	.29	.87	.34		.88	.32	.86	.35			
.44	.50	.58	.49	**	.52	.50	.54	.50			
.58	.50	.58	.49		.66	.47	.76	.43		*	
.32	.47	.37	.48		.37	.48	.54	.50		*	
.50	.50	.50	.50		.48	.50	.59	.49			
.58	.49	.67	.47	*	.68	.47	.78	.42			
.22	.42	.26	.44		.24	.43	.22	.41			
.80	.40	.70	.46	*	.52	.46	.83	.38	**	**	
.76	.43	.60	.49	**	.81	.39	.68	.47			
.27	.45	.29	.45		.25	.43	.24	.42			
.21	.41	.31	.46	*	.32	.47	.34	.47	*	*	
.34	.47	.51	.50	**	.40	.49	.66	.47	**		
.47	.50	.51	.50		.48	.50	.49	.50			
.37	.48	.52	.50	**	.37	.48	.44	.50			
.64	.48	.54	.50	*	.67	.47	.50	.50	*		
.66	.48	.70	.46		.72	.45	.73	.44			
.28	.45	.19	.39	*	.40	.49	.31	.47		*	

31. レポートの内容をまとめあげるのが困難に感じるものがしばしばありますか
32. レポートを書く前にレポートのアウトラインを考えたりしないですか
33. よくわからない授業のテストの準備をする時、特に勉強をせず、自分が覚えている公式、定義法則という知識だけに頼ってしまうことが時々ありますか
34. ○×式や答を選択するタイプのテストは答えにくいといつも思っていますか
35. 勉強の資料や参考書をそろえるのがむずかしいといつも思っていますか
36. さし迫ってから試験の準備をするのが普通ですか
37. テストの答案を返された時、自分の解答を注意してみなおすことは余りありませんか
38. 試験時間内に全部回答することは、いつでもむずかしいですか
39. テストで質問文をよく読まないために、解答をまちがえることがしばしばありますか
40. テストの前半ゆっくりしすぎたため、後半あわてることがよくありますか
41. 授業が始まって何週間もたたないのに、勉強に対する興味を失なうことがしばしばありますか
42. 学校に行っても上の学年に進むこととか、卒業することを考えるだけですか
43. 自分の教育上、職業上の目的がわからなくなったり、決めかねることがよくありますか
44. 教育を受けるための時間や努力はむだだと思ふことがよくありますか
45. 余暇の楽しみは教育を受けるよりも重要だと思っていますか
46. 授業に出ていても先生の話の聞こえをせず、考えごとをしたり、空想にふけったりすることが多いですか
47. 落ち着きのなさ、気分の変化、退屈で勉強に集中できないことがよくありますか
48. 実際には役立たない勉強をしているんだ、と思うことがよくありますか
49. 大学を落第しそうなので、いっそのこと就職をしたいと思うことがよくありますか
50. 学校で教わることは生きていく際の問題解決に全く役立たないと考えることがよくありますか
51. 勉強することが、その時の気分でたいへん影響を受けますか
52. 退屈でつまらないのでテキストを読むのがいやですか
53. テストの予定が発表されるまで、テキストやノートを読まないのが普通ですか
54. テストは逃れることのできないもの、なんとかして切り抜けなければならない、きびしい試練なのだといつも思っていますか
55. 先生は学生の求めているものや興味がわかっていないと思うことがよくありますか
56. 先生は授業以外にも授業に関連した勉強を求めすぎると思うことがよくありますか
57. 分からないところを先生に質問するのをいつもためらいますか
58. 先生は現在の課題やできごとを、ちっとも問題にしないと思うことがよくありますか
59. 先生と将来の教育計画、職業計画について話合うことには、気がすすみませんか
60. 学生仲間の雑談の中で、あなたは先生を攻撃することがよくありますか

別 の 結 果 (2)

第 1 部				第1部 性 差	第 2 部				第2部 性 差	男 子 第1,2 部 差	女 子 第1,2 部 差
男		女			男		女				
\bar{X}	SD	\bar{X}	SD		\bar{X}	SD	\bar{X}	SD			
.19	.39	.15	.36		.29	.45	.17	.38		*	
.71	.46	.68	.47		.78	.41	.76	.43			
.44	.50	.48	.50		.41	.49	.54	.50			
.73	.45	.75	.43		.75	.43	.78	.41			
.52	.50	.51	.50		.56	.50	.66	.47			
.17	.37	.15	.35		.11	.31	.00	.00	*		**
.54	.50	.67	.47	**	.56	.50	.76	.43	**		
.63	.48	.77	.42	**	.56	.50	.71	.45			
.49	.50	.50	.50		.59	.49	.73	.44			**
.42	.49	.48	.50		.46	.51	.63	.48			
.26	.44	.30	.46		.30	.46	.37	.48			
.83	.39	.81	.39		.89	.32	.75	.43	*		
.33	.47	.23	.42	*	.38	.49	.40	.49			*
.87	.34	.90	.29		.89	.32	.93	.26			
.34	.47	.40	.49		.42	.58	.45	.50			
.41	.49	.49	.50		.62	.48	.61	.49		**	
.16	.36	.24	.42	*	.36	.48	.32	.47		**	
.52	.50	.56	.50		.59	.49	.61	.49			
.87	.34	.91	.28		.83	.38	.98	.15	*		
.75	.44	.80	.40		.75	.43	.85	.35			
.12	.32	.14	.35		.13	.33	.24	.43			
.36	.48	.46	.50	*	.44	.50	.66	.47	*		*
.41	.49	.37	.48		.37	.48	.54	.50	*		*
.40	.49	.23	.42	**	.38	.48	.34	.47			
.24	.43	.35	.48	**	.28	.45	.41	.49			
.67	.47	.68	.47		.86	.47	.80	.40		**	
.35	.48	.43	.50		.45	.50	.32	.47			
.50	.50	.71	.45	**	.54	.50	.61	.49			
.46	.50	.59	.49	**	.60	.49	.59	.49	*	**	
.53	.50	.61	.49		.62	.48	.68	.47			

* $P < .05$ $P < .01$

Table 3-1 下位領域および全体相互の
相関 (男子)

	学習方法	学習モチ ベーション	学習技術
学習場面	.410	.465	.751
学習方法		.535	.799
学習モチ ベーション			.856

Table 3-2 下位領域および全体相互の
相関 (女子)

	学習方法	学習モチ ベーション	学習技術
学習場面	.443	.461	.753
学習方法		.479	.802
学習モチ ベーション			.810

信頼性についての相関係数は、学習場面 .316, 学習方法 .638, 学習モチベーション .530, 学習技術 .691 であった。

また、学習習慣、学習態度の質問紙の得点と学習技術の得点とは、.708 の相関がみられた (学習習慣、学習態度と学習場面とは .396, 学習方法とは .623, 学習モチベーションとは .582 の相関がみられた)。

III 展 望

大学生の学習技術についての調査の結果から、第 1, 2 部, 男女学生に共通した学習技術の問題をあげると次のようになる。

まず、学習場面では、1. 「課題提出をギリギリまで延ばしておく」、2. 「疲労のために効果的に勉強できない」、4. 「勉強に必要な時間を娯楽やうわさ話で過ごす」、6. 「ノートをすぐ見直さない」、8. 「宿題、予習、復習が遅れがちだ」、10. 「勉強時間が毎日一定しない」、20. 「必要な資料がないと勉強が遅れる」、学習方法では、23. 「テキストの要点をつかむのがむずかしい」、31. 「レポートの内容のまとめが困難」、36. 「切迫した試験準備」、学習モチベーションでは、51. 「勉強がその時の気分の影響を受ける」という点である。

ここに 7 つの反応があげられた学習場面の問題については、時間管理の技術の適用、学習環境の調整が方法論となる。

第 2 の、ここでは 3 つの問題があげられた学習方法の問題については、SQ3R (Robinson, 1957) SQ5R および OR5R (Pauk, 1974, いずれも SQ3R の修正とみられる)、マッピング (Christ, 1969) という読書技術、ノートのとり方、文章表現の訓練が接近の方法論となる。

第 3 の学習モチベーションの問題については、集中についての訓練、脱感作、自律訓練、バイオフィードバック、心理劇、役割演技法、および受容的方法をふくむ接近が方法論となる。

カウンセリングと教育との結びつき、あるいはカウンセリングの原理の教育への活用についての必要性の指摘もなされている (沢田, 1972, 1979)。

そして、学生の Learning skills の調査を前提とした学習技術の訓練は、カウンセリングと教育との結合の一つの活動とみなされる。

すなわち、この Learning skills の調査は、学業上の問題をもつ学生に対するカウンセ

リング,あるいは心理学的サービスに一つの方法論を提供するものと思われる。

そして,学習モチベーションと学習技術との相関関係が最も高いことからみても,いわゆるパーソナリティ・カウンセリングの方法論が,学習技術訓練の一つの前提をなすものと思われる。

引用文献

- Christ, F. L. (1973) Learning assistance support system at California State University, Long Beach. *J. of Media and Technology*, 18, 1, 19.
- Enright, G. (1975) College learning skills; frontierland origins of the learning assistance center. *Proceeding of the 8th annual conference of the Western College Reading Assn.* 85.
- 林 潔 (1977) 青年期の心理と学生相談の展開, プレーン出版 116.
- Pauk, W. (1974) *How to learn in college.* N.Y.: Houghton Mifflin Co. 4.
- Sullivan, L. L. (1979) *Sullivan's guide to learning centers in higher education.* Portsmouth, N. H.: Entek 626-627.

参考文献

- Anderson, R. P., & Kuntz, J. E. (1959) The "Survey of study habits and attitudes" in a college counseling center. *Personnel & Guidance J.*, 37, 5, 365-368.
- Borow, H. (1949) *The counseling inventory of academic adjustment.*
- Borow, H. *Manual for the counseling inventory of academic adjustment.*
- Borow, H. (1958) Research notes from here and there—curricular approaches to personal development: some problems of research classification of personal adjustment courses. *J. of Counsel. Psychol.*, 5, 1, 63-69.
- Brown, S., Carnahan, W., Houston, D., Kerstiens, G., & Maddaford, H. (1973) Technology with humanism supports learning. *Community & Jr. Col. Journal*, May 1973.
- Brown, W. F., & Holtzman, W. H. (1953) *Survey of study habits and attitudes.* N.Y.: The Psychological Corporation.
- Brown, W. F., & Holtzman, W. H. (1956) Use of the survey of study habits and attitudes for counseling students. *Personnel & Guidance Journal*, 35, 4, 212-218.
- Brown, W. F. (1965) *Study skills surveys.* San Marcos, Texas: Effective Study Materials.
- Brown, W. F. (1965) *Study skills surveys—manual of directions.* San Marcos, Texas: Effective Study Materials.
- Brown, W. F., Wehe, N. O., Zunker, V. G., & Halslum, W. L. (1971) Effectiveness of student-to-student counseling on the academic adjustment of potential college dropout. *J. of Educ. Psychology*, 62, 4, 285-289.
- Christ, F. L. (1968) *Survey of reading/study efficiency.* Chicago: Science Research Assn. Inc.
- Christ, F. L. (1967) *Study-reading college textbook.* Chicago: Science Research Assn. Inc.
- Christ, F. L. (1969) *SR/SE resouce book.* Chicago: Science Research Assn. Inc.
- Christ, F. L. (1971) System for learning assistance learners, learning facilitators, and learning centers. *4th annual proceedings of the Western College Reading Assn.* 32-41.
- Christ, F. L. (1980) Learning assistance at a state university: a cybernetic model. Lauridsen, K. V. ed. *New directions for college learning assistance 1.* San Francisco: Jossey-Bass Inc.
- Corlette, D., & Baich, H. (1972) The relationship of study skills and attitudes, library skills, and reading skills to academic success. *Proceeding of the 5th annual conference of the Western College Reading Assn.*, 25-33.
- Costello, W., & Fusco, R. (1978) *Study skills survey.* San Francisco: Student Learning Center, Counsel. Service, San Francisco State Univ.
- Counseling Services, Wilfrid Laurier Univ. *Study skills series.*
- De Sena, P. A. (1949) The effectiveness of two study habits inventories in predicting consisted over-, under-, and normal achievement in college (comment Henry Borow). *J. of Counsel.*

- Psychol., 11, 4, 388-394.
- Devirian, M., Enright, G., & Smith, G. D. (1975) A survey of learning program centers in U.S. institutions of higher education. Proceeding of the 8th annual Western College Reading Assn. conference, 69-76.
- Enright, G. (1975) College learning skills: frontierland origins of the learning assistance center. Proceeding of the 8th annual Western College Reading Assn. conferece, 81-92.
- Fujitaki, N. M. (1974) CSLU intern training in learning assistance. 7th annual proceedings of the Western College Reading Assn., 83-90.
- Gibbs, G., & Northedge, A. (1979) Helping students to understand their own study methods. British J. of Guidance & Counsel, 7, 1, 92-100.
- Hancock, L. (1978) Counselling services—learning skills workshop. Parkville, Vic: Univ. of Melbourne.
- 林 潔 (1981) 大学生の学習技術, 新書館.
- 林 潔, 滝本孝雄 (1980) 大学生の学習習慣, 学習態度の構造と性格傾向への対応, 日本教育心理学会第22回総会発表論文集.
- 松原達哉 ESHI 能率的学習法診断検査, 日本文化科学社.
- Mexwell, M. (1980) Improving student learning skills. San Francisco: Jossey-Bass Publishers.
- Murray, A. J. Study skills self test. Tucson, Arizona: Academic Learning Skills Center, Student Counseling Services, Univ. of Arizona.
- National Foundation for Educational Research in England and Wales. Training of skills project.
- Pauk, W. (1974) How to study in college. N.Y.: Houghton Mifflin Co.
- Richards, C. S. (1975) Behavior modification of studying through study skills advice and self control procedures. J. of Counsel. Psychol., 22, 5, 431-436.
- ロビンソン, F. P., 伊東 博 訳 (1957) カウンセリングの原理と方法, 誠信書房.
- Robyak, J. E., & Patton, M. J. (1977) The effectiveness of a study skill course for students of different personality types. J. of Counsel. Psychol., 24, 3, 200-207.
- Robyak, J. E., & Downey, R. G. (1978) Effectiveness of a study skill course for students of different achievement levels and personality types. J. of Counsel. Psychol., 25, 6, 544-550.
- 沢田慶輔 (1972) 学校教育心理学, 東京大学出版会.
- 沢田慶輔 (1979) 教育相談の意義と役割, 現代学校教育全集, ぎょうせい.
- Smith, S. (1970) Best methods of study. N.Y.: Barnes & Nobles Books.
- Sterns, T. G. (1978) How to increase motivation and change behavior. Long Beach, California: HDC Center, California State Univ.
- Sullivan, L. (1979) Check your study skills quotient. ANZSSA exchange 3.
- 辰野千寿 (1979) 新学習適応検査, 日本図書文化協会.
- Univ. of Melbourne (1978) A survey of study habits and attitudes.
- 和田孝彦, 田崎醇之助 (1978) 大学生の学園生活満足の分析, 白梅学園短期大学紀要, 14, 47-62.
- Wrenn, G. G. (1941) Study habits inventory. Stanford, Cal.: Stanford Univ. Press.
- Zunker, V. G., & Brown, W. F. (1966) Comparative effectiveness of student and professional counselors. Personnel & Guidance Journal, 44, 2, 738-743.

Evaluation of Learning Skills in University Students

Kiyoshi HAYASHI

This survey aimed to found contents of learning skills in Japanese university students by the Study Skills Surveys (Brown, 1965). Subjects were 210 male, 272 female students in daytime college and 151 male, 41 female students in evening college in the Tokyo metropolitan area (this survey had done in Jan. 1980).

The results of this survey according to the original items of the Brown's questionnaire were shown on the Table 2. And the score according to the sub-category (study organization, study technique, study motivation and total study skills) were shown on the Table 1 (but the author omitted item No. 14 and 34 for the results of item analysis). Correlations between each sub-category were shown by the Table 3.

Problems of learning skills in Japanese university students which the author have found in this survey were in the field that were refered from the items—1, 2, 4, 6, 8, 10, 20, 23, 31, 36 and 51.

1. Do you usually put off preparing them and reports until the last minute?
2. Do you frequently find that you are too tired or sleepy to study efficiency?
4. Do you frequently spend time reading magazines, watching television, or exchanging gossip when you should be studying?
6. Do you usually wait a day or more before reviewing the notes taken in class?
8. Do you sometimes suddenly discover that an assignment is due sooner than you thought it was?
10. Do you seem to accomplish very little in relation to the amount of time that you spend studying?
20. Is your studying often slowed down because needed books or study materials are not on hand?
23. Do you frequently have difficulty picking out the important points in a reading assignment?
31. Do you frequently have trouble organizing the content of a term paper or report?
36. Do you depend mainly on last minute cramming in preparing for test?
51. Is your studying often a hit-or-miss proposition depending on the mood you are in?

The author supposed training of students' learning skills is the one of the tasks of student counseling services or psychological services in Japan in near future. So this survey will offer a basic information to such services.